

## 川崎市宮前区野川のカミキリ採集記録

竹内 豪\*

The recent collection of cerambycidae at Nogawa.Miyamaeku.Kawasaki City

Go Takeuchi

### I はじめに

川崎市域の昆虫に関しては川崎市自然環境調査報告 I に林 (1987), 小林 (1987) が川崎市自然環境報告書 II には小林 (1991), 林他 (1991), 林 (1991) が, 川崎市自然環境調査報告書には永島他 (1994) などがあり, 川田他 (1999) や丸山 (1971), 倉形 (1993) などに川崎市北部の甲虫類が記録されている。しかし, 川崎市中部及び南部の甲虫に関しては報告が少ないようなので, 今回 2001年から2002年の間に川崎市宮前区野川で採集をしたカミキリムシ科の報告をする。

採集地の宮前区野川は川崎市のほぼ中間に位置し, 丘陵地が50m前後の高低差で複雑に入り組んでいる。1980年頃までは丘陵地の低部には湿地状の小川が流れ, 丘陵部には二次林という風景であったが, 1980年以降, 宅地開発が急激に進み緑地帯は分断され, 現在では断崖部等の起伏に富んだ場所に断続的に面影を残すのみである。とはいえ, 野川地区は宮前区の中では比較的広範囲に渡り緑地帯が残されている。そのため今後も都市化が進むことが充分考えられ, 昔の面影がかるうじて残る今, さらなる調査を行なう必要があると思われる。

### II 調査方法

調査は2001年9月より2002年8月まで約70回おこなった。見つけ取りを中心に掬い網と若干の朽木崩しをした。同定は原色日本甲虫図鑑 (1986) 保育社を優先して筆者がおこない, その後, 日本鞘翅学会の川田一之氏に同定をお願いした。なお, 標本は川崎市青少年科学館に保存されているが, 一部は筆者が保管をしている。

—調査地地図—



\* かわさき自然調査団

### III 目 録

#### 〈凡例〉

- 和名, 学名, は原色日本甲虫図鑑 (1986) に従った。
- 種の配列は平野 (1998) に従った。
- 採集数, 採集年月日, の 順に記載をしているが, 採集者は筆者なので省略をした。また, 採集地も宮前区野川のみのため省略をした。

#### カミキリムシ科 Cerambycidae (16)

##### ウスバカミキリ *Megopis sinica* (White)

1ex., 14. VII. 2002.

腐食のかかり進んだ, 細い立ち枯れの木の切断部分にいた。

##### キマダラヤマカミキリ *Aeolesthes chrysothrix* (Bates)

1ex., 5. V. 2002.

1m程の植木の半ば枯れかけの花を食べていた。筆者は今までに本種を採集, 目撃をしたことはない。

##### ピロウドカミキリ *Acalolepta fradatrix* (Bates)

1ex., 8. VI. 2002.

カワラタケが密生した腐食の進んだ柳の倒木の樹皮下より, 死骸を採集した。筆者は野川地区において過去にも何度か本種を目撃している。

##### ノコギリカミキリ *Prionus insularis* Motschulsky

1ex., 27. VII. 2001.

数は少ないが, 普通に見られる。

##### リンゴカミキリ *Oberea japonica* (Thunberg)

1ex., 29. VII. 2002.

クマザサの葉の上にて採集。リンゴカミキリは稀である。

##### タケトラカミキリ *Chlorophorus annularis* (Fabricius)

1ex., 29. VII. 2002.

ススキの茎部より採集。数は少ないが普通に見られるようだ。

##### ヨツスジトラカミキリ *Chlorophorus quinquefasciatus* (Castelnau) et Gory

4exs., 14. VII. 2002.

同一箇所にて多数発生をしていた。生田緑地では未記録種である。後記のフタオビミドリトラカミキリ *C.muscoasus* (Bates) と共にハギの茎を侵食していた。8月の中旬には, 今回の採集地以外の場所でもヤブガラシの花を食べていた個体が見られた。発生数は多いと思われる。

##### フタオビミドリトラカミキリ *Chlorophorus muscosus* (Bates)

3ex., 14. VII. 2001.

採集状況は前種ヨツスジトラカミキリ *C.quinquefasciatus* (Castelnau) et Gory と同様であるが, 発生は局地的であり, 採集地以外では見られなかった。生田緑地では未記録である。

##### アトジロサビカミキリ *Pterolophia zonata* (Bates)

1ex., 26. V. 2002.

野川地区では普通にみられる。

##### ワモンサビカミキリ *Pterolophia annulata* (Cheurolat)

1ex., 29. VII. 2002.

数は少ないようだ。

##### カタシログマフカミキリ *Mesosa hirsuta* (Bates)

1ex., 20. VII. 2002.

クヌギの樹液に来ていた。数は少ないようだ。

ナガゴマフカミキリ *Mesosa longipennis* Bates

4 幼虫, 12. V. 2002.

ケヤキ切り株の樹皮下より幼虫を採集。5月22日, 6月3日に羽化をし, 本種と判明した。野川地区では普通に見られ, 数は多いようだ。

クワカミキリ *Apriona japonica* Thomson

1 ♂, 10. VII. 2002; 1 ♀, 20. VII. 2002.

..クワノキから複数発生をしていたが, 採集地以外のクワノキでは見られず, 局地的な発生のような。

ゴマダラカミキリ *Anoplophora malasiaca* (Thomson)

1 ex., 20. VII. 2002.

数は少ないが例年発生をしており, 食樹のプラタナスの枝に多くの食崑が見られた。

ルリカミキリ *Bacchisa fortunei* (Thomson)

1 ex., 5. V. 2002.

本種を過去に見た記憶はない。今回の採集地は造園業者の敷地であった。そのため, 地方より持ち込まれたサンザシに付いて来たものと思われる, 野川地区での発生とは考えにくい。

ヒメスギカミキリ *Palaeocallidium rufipenne* (Motschulsky)

3 exs., 22. V. 2002.

針葉樹の倒木より採集。多数確認をした。

#### IV 調査結果

この2年間の調査で確認できた種は16種と少ないが, 生田緑地では未確認のフタオビミドリカミキリとヨツスジトラカミキリが宮前区野川で確認できた。開発著しい川崎市中部に残されたわずかな自然環境だが, まだまだ多数のカミキリが生息していると思われる。また, 調査方法等を工夫することにより, さらなる種数の確認も可能であると思われるので, 今後も調査を行って充実を期したい。

#### V 謝辞

今回の報告をまとめるにあたり, ご多忙の中, 同定をして頂いた川田一之氏に心より感謝を申し上げたい。また, ご助言, ご協力を頂いた岩田芳美氏, 坂本憲一氏にお礼を申し上げる。

そして採集に際して快くご協力頂いた地域地主の方々に厚くお礼を申し上げたい。

#### 文 献

- ・林長閑, (1987). 川崎市の土壌性甲虫. 川崎市自然環境調査報告書(I), pp. 37-46. (川崎市青少年科学館).
- ・…… (1991). 川崎市域のホタル類とそれらの幼虫. 川崎市自然環境調査報告書(II), pp. 117-128. (川崎市青少年科学館).
- ・…… (1991). ヨシ群落に生息するヤマトヒメメダカカッコウムシの幼虫. 川崎市自然環境調査報告書(II), pp. 129-134. (川崎市青少年科学館).
- ・林長閑・小林正人, (1991). 川崎市のトンボ類・チョ

ウ類. 川崎市自然環境調査報告書(II), pp. 95-116. (川崎市青少年科学館).

- ・平野幸彦, (1998). 神奈川県産甲虫類目録. 神奈川県虫報特別号(2) :35-124.
- ・川田一之・岩田芳美・高橋小百合, (2000). 生田緑地の甲虫追加目録. 川崎市青少年科学館紀要(11) :42-44.
- ・…… (1999). 昆虫班, (1999). 生田緑地の甲虫. 川崎市青少年科学館紀要(10) :21-34.
- ・小林貞, (1987). 川崎市の淡水産肉眼的底生動物. 川崎市自然環境報告書(I), pp. 47-68. (川崎市青少年科学館).
- ・…… (1991). 多摩丘陵のユスリカ柑. 川崎市自然環境調査報告書(II). pp. 77-84. (川崎市青少年科学館).
- ・倉形和男, (1993). 川崎市麻生区の甲虫目録. 神奈川県虫報(103) :1-34.
- ・丸山清, (1971). 川崎市北部の甲虫. はんみょう, pp. 31-69. (多摩高校).
- ・永島治・昆虫班, (1994). 生田緑地の谷戸の土壌昆虫. 川崎市自然環境調査報告書(III), pp. 135-148. (川崎市青少年科学館)
- ・中山周平・岩田芳美・荻部治紀・川田一之・脇一郎・鈴木互, (2001). おもに1930年代から1960年代に川崎市及び周辺地域で採集された昆虫類について. 川崎市青少年科学館紀要(12) :89-107.